

複数受講キャンペーンで、テニスの上達倍増計画！テニスっていいところあるよね。

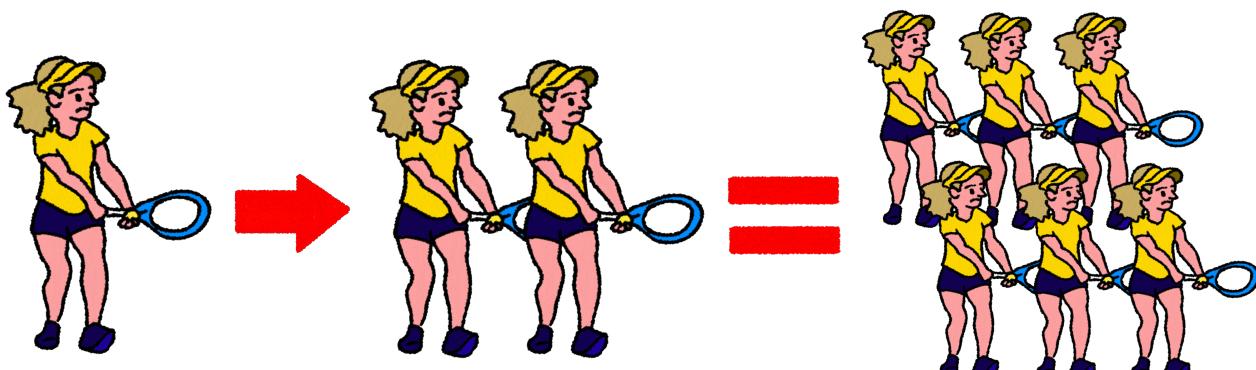
運動神経が伸びる時期に経験したスポーツは、たとえば、自転車に乗れるようになって、しばらく乗ってなくとも乗れるのと同じように、自分の一生涯の財産となります。テニスは世界中どこに行っても盛んなスポーツで（競技人口は世界4位で1億1000万人）国内でも、テニスコートや、テニススクールはいたるところにあって、ラケット1本あればいつでも楽しむことができます。

テニスはラケットを扱うスポーツで、小学校のうちにテニスをしっかり身につけておくと、中学に進学したときに、ソフトテニス、卓球、バドミントンなど、他のスポーツに応用できるので、部活選びに困ることはありません。（最近ではパデルという、ヨーロッパでさかんな競技も日本で親しまれるようになりました。）

テニスは大人になってからは、運動不足に困りません。テニスは頭と体を動かす有酸素運動として、お互いにコミュニケーションを取る大人スポーツとして、人に長寿と幸福をもたらすスポーツとして注目されています。他の団体競技と比べると、何人も仲間と相手を集める必要もないですし、（大人になったらお互い忙しくてなかなかスケジュールが合わない。連絡をとって集めるのもひと苦労）サッカーや、バスケットみたいにぶつかり合うこともないので、男女ともに、勝ち負けにこだわらなければ、親子、孫子、何世代にもわたって怪我なく楽しむことができます。幼少の時に体を動かすことが楽しいと感じて育った子どもは、大人になっても体を動かすことを楽しみにすることで、生活習慣病の予防につながるとされています。

テニスはたとえチャンピオンになれず、もしくは予期せぬ怪我のため選手生命を絶たれ引退をしたとしても、第2のテニス人生が待っています。テニススクールは、朝から晩まで、大人から子どもまで、初心者コースから、選手育成コースまで、コーチングから、スクール運営まで、やることはたくさんあります。（テニスユニバースではいつもコーチを募集しています。自分自身、教員の資格を持ちながらテニスコーチの魅力に気づきテニスコーチという職業に可能性を感じています。おとべマン）

テニスは素晴らしいスポーツです、みんなでたくさんテニスもっと楽しく、笑顔で、人を元気に、街を元気に明るい未来にしていきたいと思います。「テニス、大好き！」



週1回 が 週2回 になると

いつでもテニスができる受け放題

※詳しくはスクールインフォメーションコーナー、またはフロントへ

心技体向上塾



◆試合を待っている間に、何をしているかがとても重要。こういう経験も試合形式の練習でないと身につきません。



8月15日(土)、16(日)は、特別レッスンの日でした。この日ジュニアは「心技体向上塾」と題して、試合練習会を行いました。1時間のレッスン+1時間のリーグ戦、合わせて2時間のプログラムで、オレンジボール、グリーンボール、イエローボールの各クラスに分かれ普段のレッスンとは違って、少し緊張感のある雰囲気での練習は、子どもたちも真剣な眼差しでテニスに取り組んでいました。

試合も、クラスのレベルに関係なく、誰もが一生懸命で、お互いに誠

意を持ってプレイをしていました。相手の打ったボールが入ったか、入ってなかつた・・「うーん、入つてました！」正直にジャッジする潔さはあっぱれです。まさに、「心技体」の「心」を試される瞬間です。使うボールや、コートの大きさ、お互いに打ち合うボールのスピードはそれぞれ違いますが、「1球でも多くラリーを続けよう」とか、「空いているスペースに打つて相手を走らせよう」とか、テニスの戦術は全く同じです。早いうちから試合に慣れているこの方が、大きくなつてからも上達が早いように見えます。

優勝者には、賞状と、ユニバースタオルが、参加者にはグリップテープと、「心技体向上塾プログラム修了証」が、それぞれ受けわたされました。



◆イエローボール優勝
菅野創志選手

◆グリーンボール優勝
長田瑠生選手



◆オレンジボール優勝
鈴木琉之介選手

こんどは、ルーキーズ
チャレンジにでよう！



「第1回心技体向上塾」
オレンジ（12名） グリーン（12名） イエロー（12名） 参加者合計28名